

CHAPTER 3

HTML文章の構造化

CHAPTER3では、HTML文章の構造について学びます。文章を構成する要素に適応するタグを適切にマークアップできるようにしましょう。

CHAPTER 3 の学習目標

- ・ HTML文章の構造化を行うことができる
- ・ 構造化した文章に対して適切にマークアップすることができる
- ・ ブロックレベル要素とインライン要素の違いを説明することができる

LESSON1	HTML文章を構造化する
STEP1	HTML文章の構造化
LESSON2	マークアップ
STEP1	構成要素のマークアップ
STEP2	見出しを入力する
STEP3	箇条書きを入力する
STEP4	水平線を入力する
STEP5	アドレスを入力する
LESSON3	要素の分類
STEP1	ブロックレベル要素と インライン要素

文章を構造化する

学習目標

- HTML 文章の構造化を行うことができる

LESSON1 では、HTML 文章の構造化について学びます。WEB 制作において、なぜ文章の構造化が重要なのかをしっかりと学びましょう

STEP

1

HTML 文章の構造化

読みやすい WEB ページ、見やすい WEB ページとはどのような WEB ページでしょうか。色合いや文字の大きさなどさまざまな要因が考えられますが、ここでは身近な文章を例に読みやすい、または見やすい文章とはどのようなものか考えてみましょう。

一般的なビジネス文章や学校のレポートを書くときのことを考えてみましょう。何気なく、段落を分けたり、見出しをつけるなどして文章をいくつかのまとまりして表現したり、箇条書きや図、表などを使って伝えたい内容を整理して表現したりしています。これらは、内容をわかりやすく伝えるための工夫であり、WEB 制作においても同様の工夫が必要です。

段落を分けたり、見出しをつけるなどして、文章の構造がきちんと整理されている文章は読みやすい文章と言えます。HTML 文章も同じように文章の構造をきちんと整理して構成することで閲覧する人にとっても見やすい WEB ページとなるわけです。

5月27日 はじめてのホームページ作り！

(感想)

今日はじめてホームページを作りました。ホントの初心者だったのでわからないことだらけでした。しかし、どうにかこうにか完成することができました。やれやれ。

(覚えたこと)

- ・HTML の仕組み
- ・簡単な基本タグ
- ・ファイルの保存方法

図3-1. サンプル日記

では、「図 3-1. サンプル日記」の文章がどのような部品から構成されているのか見てみましょう。

- ・冒頭に、“5月27日 はじめてのホームページ作り”という大きな見出しが付けられています。
- ・続いて、2つの記事が書かれています。
- ・1つ目の記事には、“(感想)”という記事の見出しが付けられています。
- ・1つ目の記事は、1つの段落で構成されています。
- ・2つ目の記事には、“覚えたこと”という記事の見出しが付けられています。
- ・2つ目の記事は、箇条書きで構成されています。

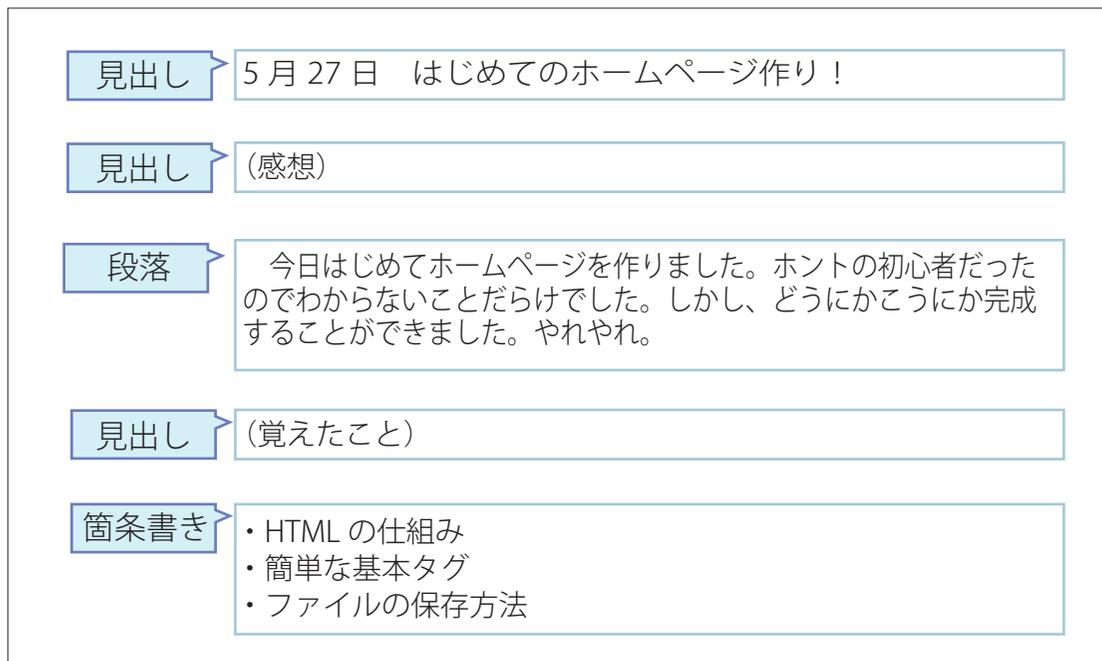


図 3-2. サンプル日記の構造

この日記では、見出しや段落に加え、箇条書きを用いて文章が作られていることがわかります。このように、タイトルや本文、画像、表など文章を構成する部品のことをHTML文章では**要素**と呼びます。また、要素を適切に配置していくことを**構造化**と呼びます。このサンプル日記は、非常に短い文章ですがHTML文章では要素ごとに適切なタグを記述する必要があるため、このように短い文章でも、きちんと構造化を意識して文章を構成することが大切です。

このように、HTML文章をひとつの構造物として捉え、どのような部品から構成され、その部品をどのように配置していくのか考えることがWEB制作の第一歩となります。

CHAPTER 3
HTML 文章の構造化

LESSON 2

マークアップ

STEP ① 構成要素のマークアップ

STEP ② 見出しを入力する

STEP ③ 箇条書きを入力する

STEP ④ 水平線を入力する

STEP ⑤ アドレスを入力する

学習目標

□構造化した文章に対して適切にマークアップすることができる

LESSON 2 では、HTML 文章を構成する要素を確認し、各要素に対応したタグをマークアップしていきます。

STEP

1

構成要素のマークアップ

HTML では、見出しや段落、画像、表のように文章を構成する部品のことを要素と呼び、要素ごとにタグと呼ばれる要素を示す文字列が決められていることを学びました。ここでは、要素を示すタグを具体的に見ていきましょう。

次のサンプルページがどのような要素から構成されているのか考えてみましょう。

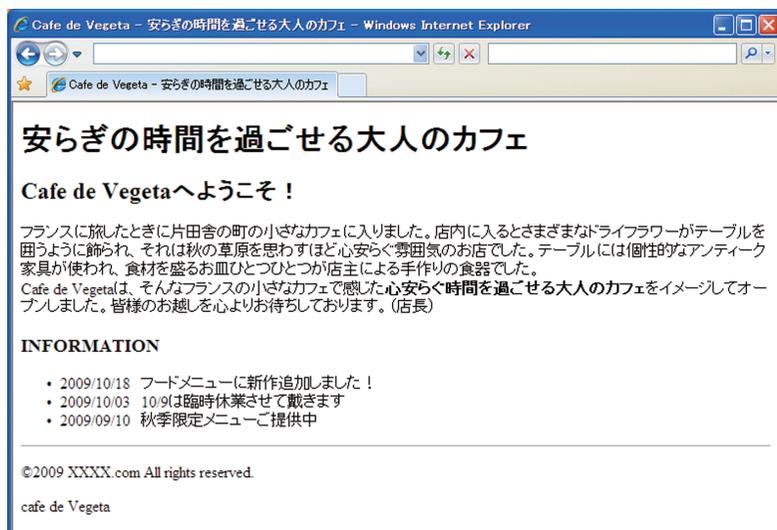


図3-3. サンプルページ

次の図は、「図 3-3 サンプルページ」の文章を要素ごとに分けたものです。そして、各要素に対応するタグを赤字で示しています。このように HTML 文章を構成する要素には、対応するタグが決められており、適切にタグを使い分けることが大切です。

タイトル	h1 (大見出し)	安らぎの時間を過ごせる大人のカフェ
本文の記事 1	h2 (中見出し)	Cafe de Vegeta へようこそ！
	p (段落)	<p>フランスに旅したときに片田舎の町の小さなカフェに入りました。店内に入るとさまざまなドライフラワーがテーブルを囲うように飾られ、それは秋の草原を思わすほど心安らく雰囲気のお店でした。テーブルには個性的なアンティーク家具が使われ、食材を盛るお皿ひとつひとつが店主による手作りの食器でした。</p> <p>Cafe de Vegeta は、そんなフランスの小さなカフェで感じた心安らぐ時間を過ごせる大人のカフェを目指してオープンしました。皆様のお越しをお待ちしております。(店長)</p>
本文の記事 2	h2 (中見出し)	INFORMATION
	ul (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> • 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！ • 2009/10/3 10/9 は臨時休業させて戴きます • 2009/9/10 秋季限定メニューご提供中
フッター情報	hr (水平線)	_____
	p (段落)	2009 XXXX.com All rights reserved.
	address (連絡先)	cafe de Vegeta

図 3-4. 各要素に対応したタグ

上図に示すとおり、この文章は、「タイトル情報」「本文の記事 1」「本文の記事 2」「フッター情報」の 4 つのパーツから構成されていることがわかります。さらに、パーツの中を要素ごとに分けると以下ようになります。

- タイトル情報：大見出し
- 本文の記事 1：中見出し、段落
- 本文の記事 2：中見出し、箇条書き
- フッター情報：段落

ここで示された要素に対応するタグについて、以降の STEP で学習していきましょう。

STEP

2

見出しを入力する

ここで学ぶタグ 【ブロック要素】

`<hx>~</hx>`

: 見出しを示すタグ

(hの後のxには、1から6の数字が入り、見出しのレベルを指定する)

見出しには、`<hx>`タグを用います。hの次にくるxには、見出しのレベルを示す1から6の数字が入ります。一番大きな「見出し」には、`<h1>`タグ、次に大きな「見出し」には、`<h2>`タグ、それよりも小さな見出しには`<h3>`~`<h6>`のタグを指定します。

`<hx>`タグで指定された文字は、太字で表示され、文字の大きさもレベルに合わせて大小異なる大きさで表示されます。なお、`<hx>`~`</hx>`タグの後は自動的に改行されます。

記述例

[省略]

`<body >`

`<h1 >見出し 1 </h1 >`

`<h2 >見出し 2 </h2 >`

`<h3 >見出し 3 </h3 >`

`<h4 >見出し 4 </h4 >`

`<h5 >見出し 5 </h5 >`

`<h6 >見出し 6 </h6 >`

`</body >`

[省略]

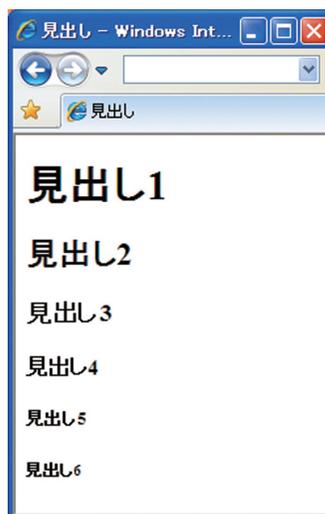


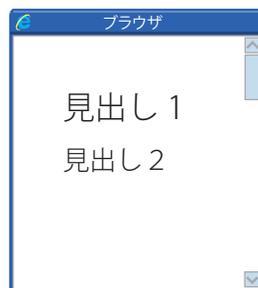
図 3-5. `<hx>`タグ

`<hx>`タグは、HTML 文章の構造を示すタグです。見出しを適切に配置することで HTML 文章の構造がよりわかりやすくなり、読みやすい WEB ページとなります。また、見出しに指定された文字は重要なキーワードとしても位置づけられます。従って、`<hx>`タグを文字サイズの指定に用いることは間違った使い方ですので注意しましょう。

Point[`<hx>`タグの使い方]

`<hx>`タグは、以下のように`<h1>`タグ、`<h2>`タグを横並びに記述しても、ブラウザでは縦に並んで表示されます。

```
<h1 >見出し 1 </h1 ><h2 >見出し 2 </h2 >
```



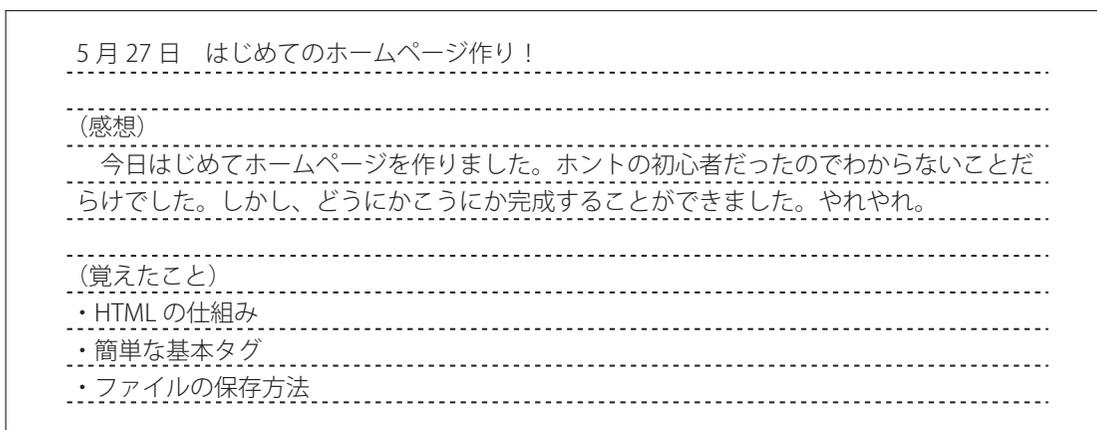


図3-6. サンプル日記

次のサンプル日記を HTML 文章にすると以下ようになります。

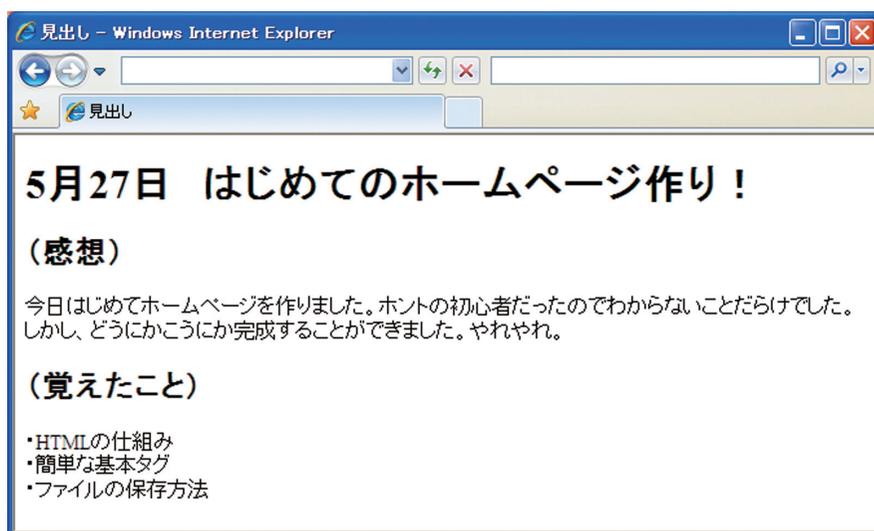
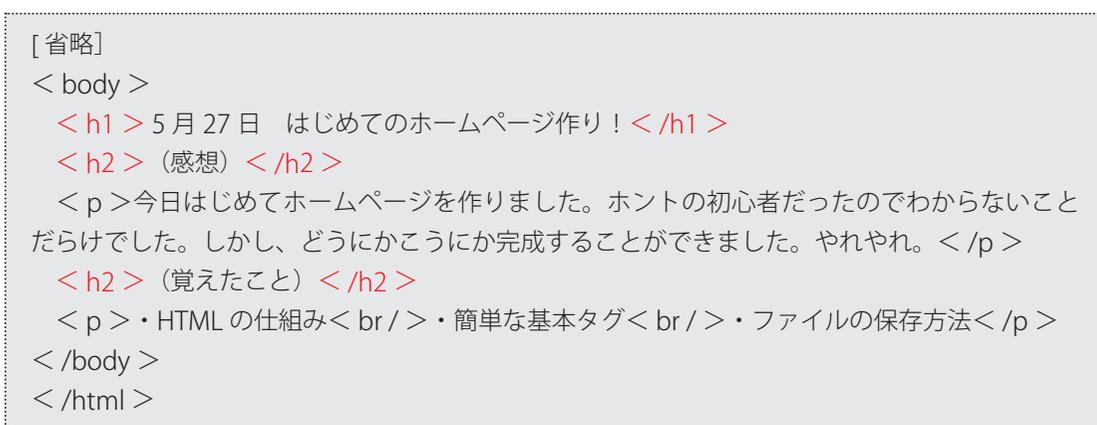
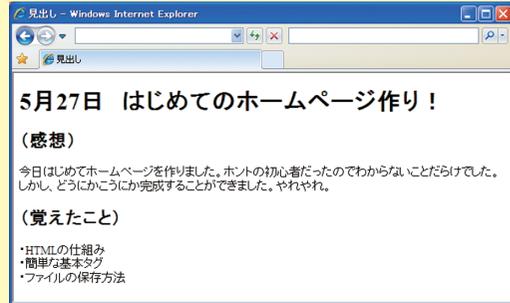


図3-7. サンプル日記のプレビュー

練習 1

c3-1.html をエディタで開き、前のページの「図 3-7. サンプル日記のプレビュー」のソースコードを参考にして、下図の WEB ページを完成させましょう。

[使用するファイル：website > chapter3 > c3-1.html]



演習 1

chapter3.html をエディタで開き、次のソースコードを参考にして見出しを追記しましょう。

[使用するファイル：website > 演習 > chapter3.html]

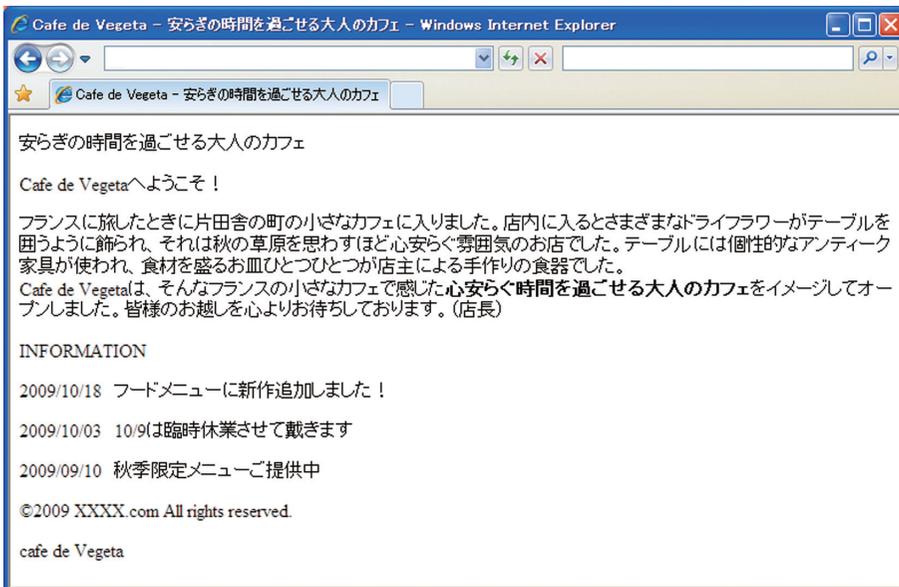


図 3-8. 指定前

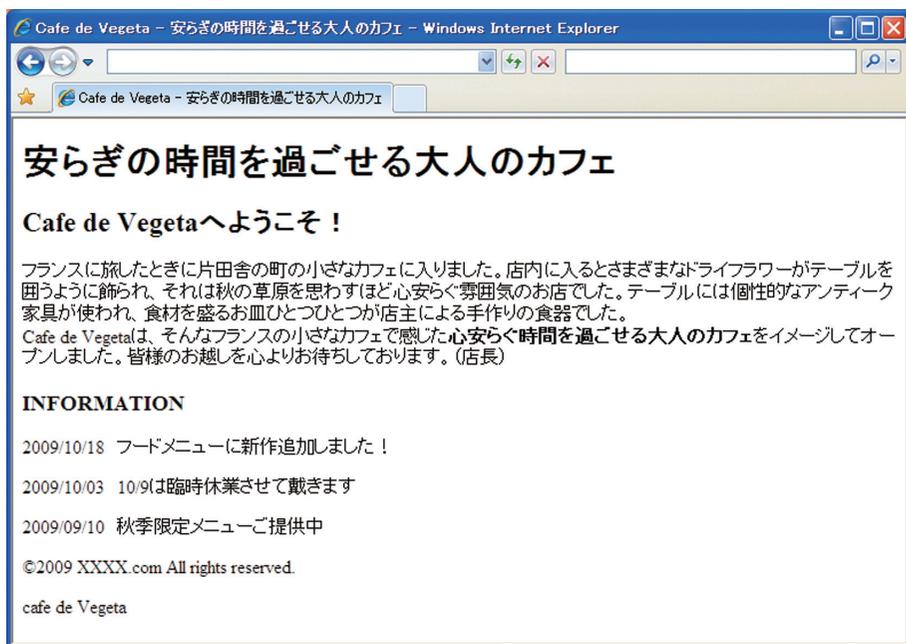


図 3-9. 指定後

1. 赤字の部分を追記します。

[省略]

< body >

< h1 >安らぎの時間を過ごせる大人のカフェ< /h1 >

< h2 > Cafe de Vegeta へようこそ！ < /h2 >

< p >フランスに旅したときに片田舎の町の小さなカフェに入りました。店内に入るとさまざまなドライフラワーがテーブルを囲うように飾られ、それは秋の草原を思わずほど心安らく雰囲気のお店でした。テーブルには個性的なアンティーク家具が使われ、食材を盛るお皿ひとつひとつが店主による手作りの食器でした。 < br / > Cafe de Vegeta は、そんなフランスの小さなカフェで感じた < strong >心安らく時間を過ごせる大人のカフェ< /strong >をイメージしてオープンしました。皆様のお越しをお待ちしております。(店長) < /p >

< h3 > INFORMATION < /h3 >

< p > 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！ < /p >

< p > 2009/10/03 10/9は臨時休業させていただきます < /p >

< p > 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中 < /p >

< p > ©2009 XXXX.com All rights reserved. < /p >

< p > cafe de Vegeta < /p >

< /body >

< /html >

2. 入力が終わったら、ファイルを上書き保存します。
3. では、chapter3.html をダブルクリックして、ブラウザで確認してみましょう。

STEP

3

箇条書きを入力する

ここで学ぶタグ [ブロック要素]

`~`

: 番号順リストを示すタグ

`~`

: 順不同リストを示すタグ

`~`

: リスト項目を示すタグ

箇条書きには、順番が決まっている項目を並べるリスト（番号順リスト）と順番が決まっていない項目を並べるリスト（順不同リスト）があります。

1. 番号順リスト

リストの先頭に表示するマークが、“1. ×××”や“A. ×××”のようにマークの形状が数字やアルファベットで表されるリストのことで順番が決まっている項目を並べるときに用います。

番号順リストを表すには、``タグを用います。まず、リスト項目を``タグを用いて記述します。そして、``タグを挟むように先頭に``タグ、最後に``タグを記述します。

```リスト項目 1 ``リスト項目 2 ```

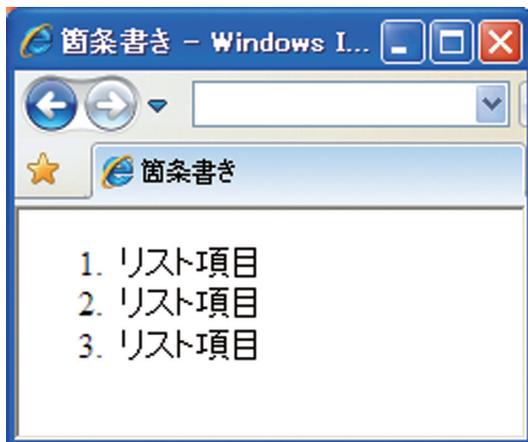
先頭文字: 数字

記述例

[省略]

```リスト項目``リスト項目``リスト項目```

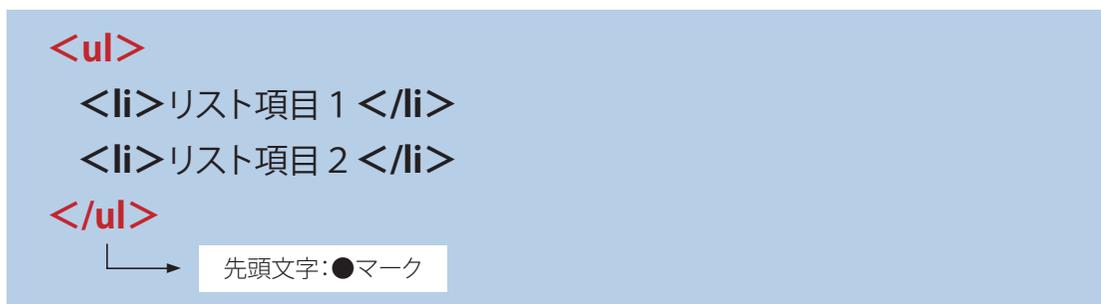
[省略]

図3-10. ``タグを用いた箇条書き

2. 順不同リスト

リストの先頭に表示するマークが、“● ×××”や“□ ×××”のようにマークの形状が記号で表されるリストのことで、順番が決まっていない項目を並べるときに用います。

順不同リストを表すには、タグを用います。まず、リスト項目をタグを用いて記述します。そして、タグを挟むように先頭にタグ、最後にタグを記述します。



記述例

```
[省略]
<ul>
  <li>リスト項目</li>
  <li>リスト項目</li>
  <li>リスト項目</li>
</ul>
[省略]
```

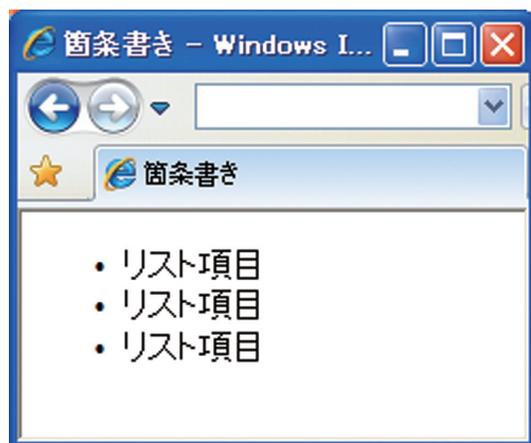


図3-11.タグを用いた箇条書き

練習 2

練習 1 に引き続き、c3-1.html をエディタで開き、次の文章を箇条書きのタグを用いた記述に変更しましょう。

- ・ HTML の仕組み
- ・ 簡単な基本タグ
- ・ ファイルの保存方法

[使用するファイル：website > chapter3 > c3-1.html]

type 属性の指定

タグ、タグに type 属性を追記することで項目のマークの形状を変更することができます。

表3-1. 主なマークの形状

type 属性の記述	表記
type="circle"	○
type="square"	■
type="A"	A、B、C
type="i"	i、ii、iii

<ol type="属性">

****リスト項目 1 ****

****リスト項目 2 ****

<ul type="属性">

****リスト項目 1 ****

****リスト項目 2 ****

記述例

[省略]

< body >

< ol type="A" >

< li >リスト項目< /li >

< li >リスト項目< /li >

< li >リスト項目< /li >

< /ol >

[省略]

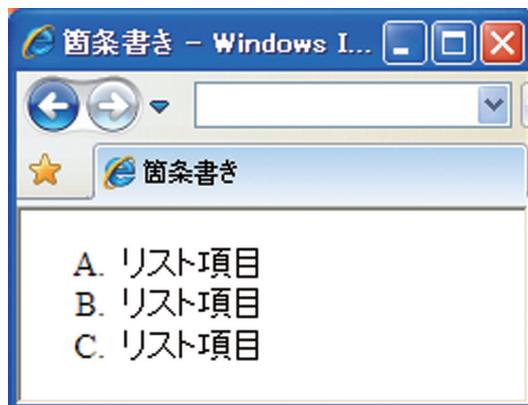


図3-12.type属性を指定しマークを変更

練習 3

練習 2 に引き続き、c3-1.html をエディタで開き、箇条書きのリスト項目のマークを次のように変更しましょう。

- . HTML の仕組み
- . 簡単な基本タグ
- . ファイルの保存方法

[使用するファイル：website > chapter3 > c3-2.html]

演習 2

chapter3.html をエディタで開き、次のソースコードを参考にして箇条書きに変更しましょう。

[使用するファイル：website > 演習 > chapter3.html]

INFORMATION

2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！

2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます

2009/09/10 秋季限定メニューご提供中

©2009 XXXX.com All rights reserved.

cafe de Vegeta

図3-13.指定前

INFORMATION

- 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！
- 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます
- 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中

©2009 XXXX.com All rights reserved.

cafe de Vegeta

図3-14.指定後

1. 赤字の部分を追記します。

[省略]

```
< h3 > INFORMATION < /h3 >
```

```
< ul >
```

```
  < li > 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！ < /li >
```

```
  < li > 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます < /li >
```

```
  < li > 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中 < /li >
```

```
< /ul >
```

```
< p > &copy;2009 XXXX.com All rights reserved. < /p >
```

```
< p > cafe de Vegeta < /p >
```

[省略]

2. 入力が終わったら、ファイルを上書き保存します。

3. では、chapter3.html をダブルクリックして、ブラウザで確認してみましょう。

STEP

4

水平線を入力する

ここで学ぶタグ [ブロック要素]

< hr / >

: 水平線を示すタグ

水平線を表示するには、< hr / >タグを用います。水平線とは、WEB ページの中で領域の区切りなどに使用する横罫線のことです。< hr / >タグは空タグのため、水平線を挿入したい箇所に < hr / >タグを記述するだけで水平線を表示することができます。なお、< hr / >タグの後は改行されます。

記述例

[省略]

< h1 >全国の定期予報< /h1 >

< hr / >

< p >今日は全国的に晴れでしょう。< br / >明日も晴れの予報です。< /p >

[省略]

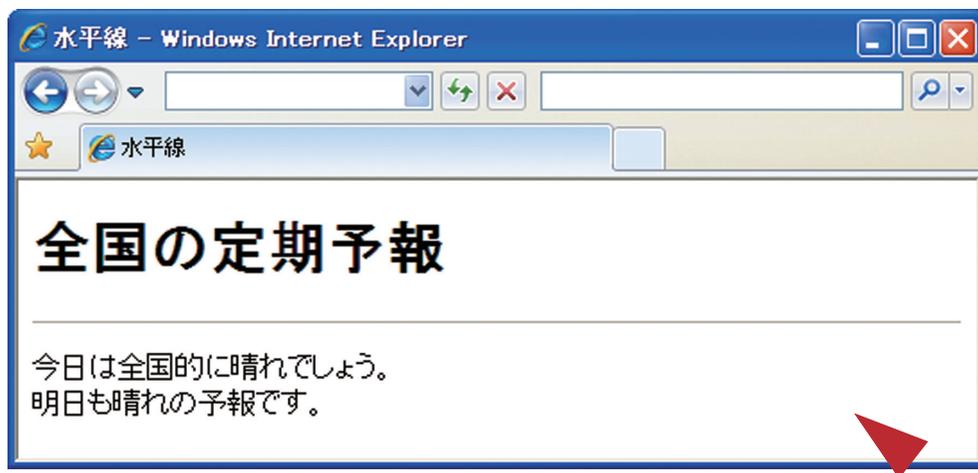


図3-15. 指定後

デフォルトの設定では、水平線の幅はページ幅いっぱいに配置されます。水平線の幅や装飾を変更するには、スタイルシートを用います。幅の調整に用いる width プロパティについては、CHAPTER7で詳しく学びます。

演習 3

chapter3.html をエディタで開き、箇条書きの後に水平線を挿入してみましょう。

[使用するファイル：website > 演習 > chapter3.html]

INFORMATION

- 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！
- 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます
- 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中

©2009 XXXX.com All rights reserved.

cafe de Vegeta

図3-16.指定前

INFORMATION

- 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！
- 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます
- 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中

©2009 XXXX.com All rights reserved.

cafe de Vegeta

図3-17.指定後（箇条書きの下に水平線が挿入されている）

1. 赤字の部分を追記します。

[省略]

```
<ul>
```

```
<li> 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！ </li>
```

```
<li> 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます </li>
```

```
<li> 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中 </li>
```

```
</ul>
```

```
<hr />
```

```
<p> &copy;2009 XXXX.com All rights reserved. </p>
```

```
<p> cafe de Vegeta </p>
```

[省略]

2. 入力が終わったら、ファイルを上書き保存します。

3. では、chapter3.html をダブルクリックして、ブラウザで確認してみましょう。

STEP 5 アドレスを入力する

ここで学ぶタグ **[ブロック要素]**

`< address > ~ < /address >` : 住所や e メール、電話番号などの連絡先を示すタグ

住所や e メールアドレス、電話番号、店名、作成者のプロフィールなどページに関する連絡先や問い合わせ先を示すには、`< address >` タグを用います。`< address >` タグを用いると検索サイトでキーワード検索の結果が上位に位置づけられるなどの効果が期待できます。一般的なブラウザでは、`< address > ~ < /address >` に囲まれた文字は斜体文字で表示されます。

記述例

[省略]

お店の電話番号

`< address >`

ご予約は 0123-4567890 へどうぞ

`< /address >`

`< hr / >`

お店のメールアドレス

`< address >`

問い合わせは `< a href="mailto: ××× @ ××× .com" >` こちら `< /a >` まで

`< /address >`

[省略]



図3-18. 指定後

演習 4

chapter3.html をエディタで開き、フッター領域にある店名を address タグに変更しましょう。

[使用するファイル：website > 演習 > chapter3.html]

INFORMATION

- 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！
- 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます
- 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中

©2009 XXXX.com All rights reserved.

cafe de Vegeta

図 3-19. 指定前

INFORMATION

- 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！
- 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます
- 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中

©2009 XXXX.com All rights reserved.

cafe de Vegeta

図 3-20. 指定後（一番下の行にある「cafe de vegeta」の文字が斜体に変更されている）

1. 赤字の部分を追記します。

[省略]

```
< ul >
```

```
  < li > 2009/10/18 フードメニューに新作追加しました！ < /li >
```

```
  < li > 2009/10/03 10/9は臨時休業させて戴きます < /li >
```

```
  < li > 2009/09/10 秋季限定メニューご提供中 < /li >
```

```
< /ul >
```

```
< hr / >
```

```
< p > &copy;2009 XXXX.com All rights reserved. < /p >
```

```
< address > cafe de vegeta < /address >
```

[省略]

2. 入力が終わったら、ファイルを上書き保存します。

3. では、chapter3.html をダブルクリックして、ブラウザで確認してみましょう。

CHAPTER 3
HTML 文章の構造化

LESSON 3

要素の分類

STEP ① ブロックレベル要素とインライン要素

学習目標

□ブロックレベル要素とインライン要素の違いを説明することができる

LESSON3 では、要素の分類について学びます。HTML 文章を作成するうえで要素の分類を知っておくことは、とても大切なポイントとなります。

STEP

① ブロックレベル要素とインライン要素

ブロックレベル要素とインライン要素については、これから学ぶ多くのタグを理解する上でとても重要となるのでしっかり理解しましょう。

LESSON 1 で学んだように WEB ページは一般的に複数の要素から構成されています。たとえば、次の図のように WEB ページは大小さまざまな四角い色紙を並べてレイアウトされていると考えるとイメージしやすいでしょう。この四角い色紙は、色紙ごとに幅や高さに加え、紙の色や枠線の有無、配置位置、隣の色紙との間隔などレイアウトに関する情報を持っています。このようなレイアウトに関する情報を持つ要素のことを**ブロックレベル要素**と呼びます。ブロックレベル要素は HTML 文書を構成する基本要素となります。

また、色紙の中に表示する文字や画像の一部に対して、強調やリンクなど特別な意味を持たせる要素のことを**インライン要素**と呼びます。インライン要素は面としての概念がなく、ページレイアウトに直接影響を与えません。



図 3-21. ページレイアウトに影響を与えるブロックレベル要素

1. ブロックレベル要素

HTML 文書を構成する上で基本的な構造の基となる要素のことをブロックレベル要素と呼びます。ブロックレベル要素は、面(四角い領域)で捉える事ができ、幅や高さという概念を持っています。また、ブロックレベル要素は、デフォルトの状態ではブラウザに表示した際に要素の後に改行が入ります。

表 3-2. 主なブロックレベル要素

構成要素	タグ
見出し	h1、h2、h3、h4、h5、h6
箇条書き	ul、ol
段落	p
表	table
水平線	hr
アドレス	address

2. インライン要素

インライン要素は、ブロックレベル要素の中に含まれる文字や行の一部に意味を持たせる役割を担います。従って、インライン要素は、必ずブロックレベル要素の中に含まれている必要があります。インライン要素は、高さや幅の概念を持ちません。また、ブラウザに表示した際は、要素の後に改行が入りません。

なお、画像(タグ)はインライン要素です。画像は一見、ブロックレベル要素にも思えますがインライン要素ですので、必ず p 要素などのブロックレベル要素の中に記述するようにしましょう。

表 3-3. 主なインライン要素

構成要素	タグ
画像	img
リンク	a
強調	em
強調	strong
改行	br

正しい例

- ブロックレベル要素
- インライン要素

インライン要素は
ブロックレベル要素
の中に記述する

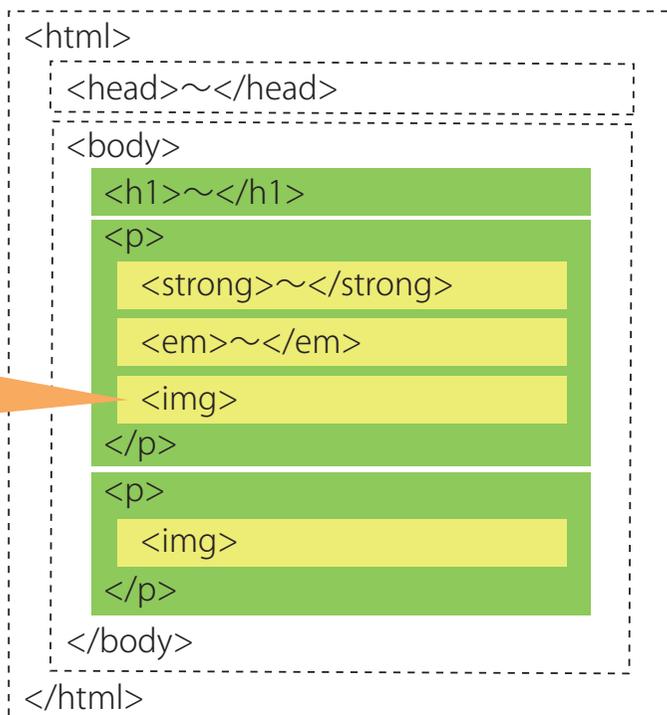


図3-22.正しい例：ブロックレベル要素とインライン要素の位置関係

記述例

[省略]

```

< body >
  < h1 >××××××××</h1 >
  < p >××××××××< strong >□□□</strong >××××××××</p >
  < p >××××××××< em >□□□</em >××××××××××××</p >
  < p >< img src=" □□□ " / ></p >
</body >
</html >

```

この例では、いずれのインライン要素（赤い字）もブロックレベル要素である p 要素の中に記述されています。

✓ CHAPTER3 スキルチェック

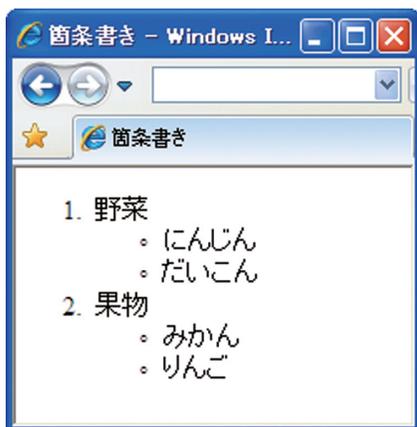
次の問いに答えなさい。

(1) ブロックレベル要素とインライン要素について、以下の項目に対して正しいものには○を誤っているものには×を付けなさい。

1. ブロックレベル要素は HTML 文書を構成する上で基本的な構造の基となる。 _____
2. ブロックレベル要素は幅や高さの概念を持っており面で捉えることができる。 _____
3. ブロックレベル要素はブラウザに表示した際要素の後に改行が入らない。 _____
4. インライン要素はブロックレベル要素の中に含まれる文字や行の一部に内容の意味を持たせる役割である。 _____
5. インライン要素は幅や高さの概念を持たない。 _____
6. インライン要素はブラウザに表示した際要素の後に改行が入る。 _____
7. XHTML ではブロックレベル要素はインライン要素の中に記述するべきである。 _____
8. < body >領域に直接インライン要素を配置してはいけない。 _____

(2) 次の図に示す WEB ページのソースコードを完成させなさい。

・学習した箇条書きのタグを組み合わせて表現してみましょう。



```
[省略]
< body >
< ___ >
  < li >野菜
    < ___ >
      < li >にんじん< /li >< li >だいこん< /li >
    < ___ >
  < ___ >
  < li >果物
    < ___ >
      < li >みかん< /li >< li >りんご< /li >
    < ___ >
  < ___ >
< ___ >
< /body >
< /html >
```

(3) 次の文章を構造化し、適切な構成要素を要素名欄に書きなさい。

要素名	文章
	オムライスの作り方
	オムライスとは、日本で生まれた米飯料理であり、ケチャップで味付けしたチキンライス（またはバターライス）を卵焼きでオムレツのように包んだ料理である。
	<hr/>
	材料（1人前）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯…1人分 ・卵…2個 ・ひき肉…100グラム ・タマネギ…1/2個 ・ケチャップ…大さじ1
	<hr/>
	作り方
	<ol style="list-style-type: none"> 1. フライパンで、みじん切りにしたタマネギとひき肉を炒める。 2. さらに、ご飯とケチャップを入れ軽く炒め、一旦皿に盛っておく。 3. フライパンに溶き卵を薄く引き、軽く固まったところに先程出来たご飯を入れる。 4. 皿に盛り形を整える。

(4) 問3で構造化した要素をもとに、実際に問3の文章をHTML文章として作成しなさい。
(作成するファイル名：c3check.html)

CHAPTER 3 のまとめ

LESSON 1

- ・タイトルや本文、画像、表など HTML 文章を構成する部品のことを要素と呼ぶ。
- ・要素には、ブロックレベル要素とインライン要素がある。
- ・ブロックレベル要素は、高さや幅の概念を持ち、面として捉えられる。
- ・ブロックレベル要素を示すタグの後は、自動的に改行される。

LESSON 2

- ・見出しを示すには、`< h1 >`タグから`< h6 >`タグを用いる。
- ・項目の先頭文字が●や□のような箇条書きを示すには、`< ul >`タグを用いる。
- ・項目の先頭文字が 1, 2, 3 のような数字の箇条書きを示すには、`< ol >`タグを用いる。
- ・箇条書きの項目を追加するには、`< li >`タグを用いる。
- ・水平線を示すには、`< hr / >`タグを用いる。
- ・連絡先や問い合わせ先を示すには、`< address >`タグを用いる。

LESSON 3

- ・要素には、ブロックレベル要素とインライン要素がある。
- ・ブロックレベル要素は、幅や高さという概念がある。
- ・ブロックレベル要素は、要素の後に改行が入る。
- ・インライン要素は、幅や高さという概念がない。
- ・インライン要素は、要素の後に改行が入らない。
- ・インライン要素は、必ずブロックレベル要素の中に配置しなければならない。

チェック項目

- HTML 文章の構造化を行うことができる
- 構造化した文章に対して適切にマークアップすることができる
- ブロックレベル要素とインライン要素の違いを説明することができる